

これぞ！我らのエンパワメント

四国学院大学

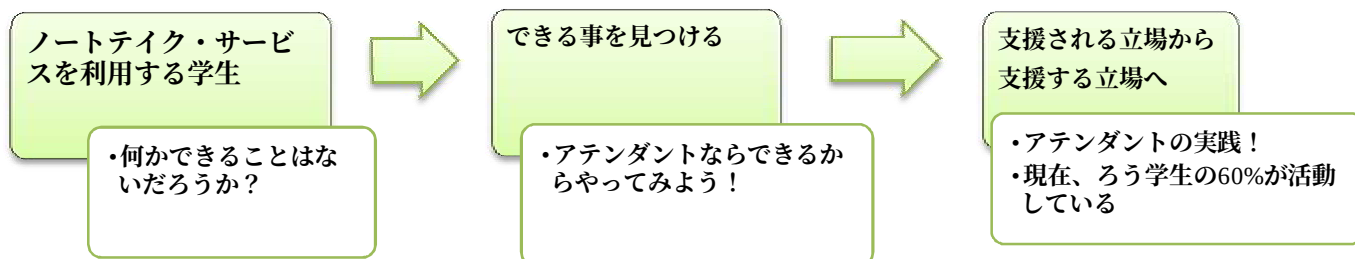
The Committee for Human Rights and Cultural Diversity

(人権と文化の多様性に関する委員会)

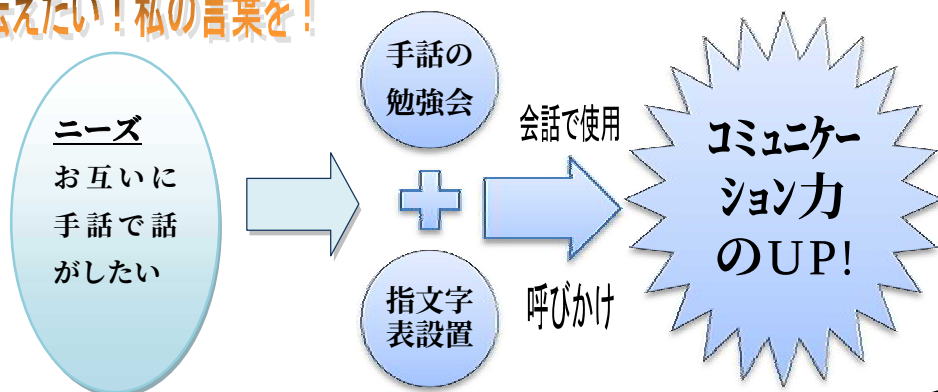
CHCの活動のひとつとして、障がいを持つ学生に対して様々なサービスを行っています。

この活動は、学生同士のエンパワメントが重要であり、今まで取り組んできた内容を紹介します。

開けてみよう！可能性の扉を！



伝えたい！私の言葉を！



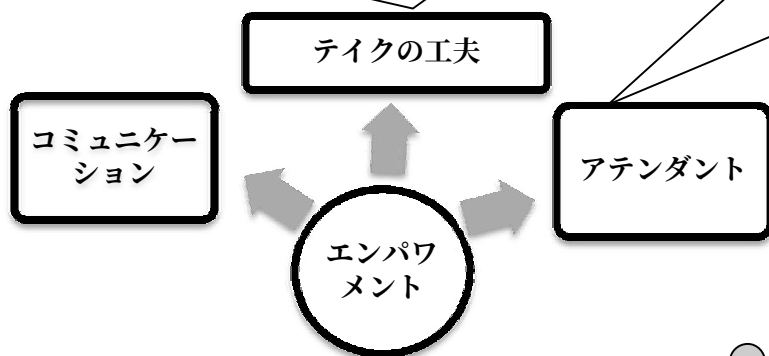
学生による手話の勉強会



踏み出そう！最初の一步！

- ・懇談会で意見を出すことにより、テイクの質や技術の改善
- ・タイピングソフトでの自主練習など

- ・移動介助や食事介助、ノート代筆などその学生のニーズに合わせて介助を行う。
- ・有償ボランティアで行っている。



私たちの声

テイカー

以前は筆談が中心だったが、指文字や手話を少しずつ覚えていくことで会話の幅が広がった。

利用者

お互いが指文字や手話を使うことによって、リアルタイムで顔を合わせて会話を楽しめ、表現が豊かになった。

(これからの目標)

テイカーや理解者（教職員など）を増やし、さらなるサービスの質の向上を図る。